



# ほ う な い

第1号

村上市立保内小学校  
強い心 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋264-2

TEL0254-62-2302

FAX0254-62-5553



入学式：4月9日（火）

学校と保護者と地域を結び合い言葉

「あいさつ、がまん、あとしまつ」

校長 須貝 学

先日の入学式では56名の新生一年生を迎え、全校児童324名で新年度のスタートを切りました。昨年度に引き続き、村上市内の小学校では児童数が一番多い学校です。

5月に新元号の令和元年を迎える今年度、保内小学校では「地域とともにある学校づくり」を理念としたコミュニティ・スクールが本格的に始まりました。まさに元年度にふさわしい年度の始まりとなりました。そんな保内小学校が目指す学校の姿は、どうあるべきなのでしょう。

新年度の始まりとなる始業式で「全校のみんなが気持ちよく過ごせる学校をつくらう」という話をしました。そして、そのためにはみんなが「あいさつ、がまん、あとしまつ」が、しっかりとできる学校でなければならぬことを伝えました。入学式でも、式辞において、新一年生に対して、同じく「あいさつ、がまん、あとしまつ」の大切さについて話しました。

荒川地区では、子どもの健やかな成長を願い、平成16年5月に荒川っ子の約束として、「あいさつ、がまん、あとしまつ」のできる子どもを目指して取組んできました。

全ての子どもに身に付いた「あいさつ、がまん、あとしまつ」の力は、望ましい生活習慣や規範意識を育てます。また、人の話を聞く素直な心や豊かな心を育て、良好な人間関係を築く基礎となります。そして、コミュニケーション能力と追究力を育て、学力の向上につながっていきます。

コミュニティ・スクールを効果的に進めていくには、共通の拠所を基に、学校と保護者と地域が手を携えて、子どもの教育に向き合わなければなりません。この三者をつなぐ共通の拠所となるのが、「あいさつ、がまん、あとしまつ」だと考えています。

今年度も変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

